

10. 政策科学研究部

部長：竹原 健二

【ミッション・目標】

当研究部のミッションは、成育医療および保健に関連する情報の収集および分析を通じ、健全な次世代育成に資する政策提言・情報発信・研究活動を行うことである。「政策」を看板に掲げる研究部として、様々な研究手法を活用しながら研究根拠に基づく政策（Evidence-based health policy）への貢献を行うために、以下の四つの柱を立てて研究している。また、得られた知見は国民に幅広く届けるよう努めている。

第一の柱：政策の実施・評価に使用しやすい手法を用いた研究推進と支援

成育医療や健全な次世代育成のための介入プログラムについて、系統的レビューおよび統合的な分析方法（メタ解析）、医療経済的な分析、実装研究などの手法を用いて、その評価や普及・実装を支えるための根拠の提示を通じ、意思決定への貢献を試みている。

第二の柱：二次データの利活用とその体制構築

国や地域の疾患や公衆衛生の実態を把握するために、代表性の高いデータの分析を通じた資料作成および政策提言をおこなっている。政府統計やレセプト情報（NDB）の利活用およびその体制構築に取り組んでいる。

第三の柱：一次データを用いた疫学研究

既存データの利活用に加え、仮説生成・検証をおこなうための疫学調査にも取り組んでいる。国内外で観察研究だけでなく、政策介入の代表的研究デザインであるランダム化比較試験を手がけている。

第四の柱：政策・事業実施支援と評価体制の構築

国や自治体が実施する成育医療・母子保健に関連する事業の実施において、様々な研究手法を用いた支援を行っている。

【研究プロジェクト】

1. 系統的レビューの実施と支援体制の構築
2. 診療レセプトを用いた周産期・小児・思春期における健康課題の抽出に関する研究
3. 子どもの予防可能な死亡や外傷の削減に関する研究
4. 父親のメンタルヘルスの実態把握やその支援に関する研究
5. 男性の育児休業取得に関する実態把握とその影響に関する研究
6. ヒト受精卵に対するゲノム編集技術の臨床利用に関する意識調査
7. 保育環境の向上に関する研究
8. モンゴルにおける精神保健に関する研究
9. モンゴル国における運動介入と脳機能の関連に関する介入研究
10. アンゴラにおける母子健康手帳の有効性に関する介入・実装研究
11. ナイジェリアにおける妊婦の栄養状態と体重増加や母児の健康に関する研究
12. 医療経済的な分析
13. 妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰の多施設前向き研究
14. 無痛分娩における胎児心拍異常の予後とリスク因子に関する研究
15. HPV ワクチン接種後の体調不良の発生とその実態に関する研究
16. 女性のやせの実態把握と健康情報の提供に関する大規模実証事業
17. 人口動態調査のリンケージからみた産後一年の女性の死亡に関する研究
18. 精神疾患の子どもの診療経過と多機関連携の実態把握

【研究体制】

部 長：竹原健二

研 究 員：山本依志子、須藤茉衣子、川崎麻紀、矢竹暖子、Balogun Olukunmi、青木藍、キタ幸子（～2021年3月）、前田明子（2021年11月～）

共同研究員：諏訪敏幸（大阪大学大学院）、橋本直也（株式会社 Kids Public）、柳川侑子（厚生労働省）、鈴木博道、芹澤優子（朝日新聞総合サービス株式会社）、安藤友久（株式会社 Kids Public～2022年3月）、片岡智恵美、田中俊之（株式会社 Kids Public）、蓋若琰（国立社会保障・人口問題研究所）、小河邦雄、西田俊彦（グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン）、北村光司（産業技術総合研究所）、山崎むつみ（静岡がんセンター）渡邊正彦、田中素子（筑波大学大学院）、大塚美耶子（国立感染症研究所 2021年5月～）、今井健二郎（国立国際医療研究センター2021年8月～）、杉山雄大（国立国際医療研究センター2021年8月～）、古野孝志（国立国際医療研究センター2021年8月～）、持田敬司（アースアンドヒューマンコーポレーション 2022年4月～）、キタ幸子（東京大学大学院 2022年5月～）、吉川裕貴（厚生労働省 2022年6月～）、木内翔太（東京大学大学院 2022年10月～）、松山春佳（東京大学大学院 2022年12月～）

研究補助員：新村美知、Dhungel Bibha、KC Bhandari Aliza

事務補助員：清水桃子、加藤直美、花井範子

【国際共同研究】

モンゴル医学大学、モンゴル体育大学、アンゴラ国保健省、アブジャ医科大学（ナイジェリア）

【国内共同研究】

群馬県、山梨県、滋賀県、三重県、香川県、高知県、京都府、筑波大学、山梨大学、三重大学、名古屋大学、北里大学、大阪教育大学、日本赤十字看護大学、国立保健医療科学院、6NC 連携事業（国立国際医療研究センター、国立がん研究センター、国立精神・神経医療研究センター、国立循環器医療研究センター、国立長寿医療研究センター）、都立小児医療研究センター、国際協力機構（JICA）、京都大学、聖路加国際大学

【研究の概要】

1) 系統的レビューの実施と支援体制の構築

NPO 法人コ克蘭ジャパンで文献検索・事務局を担当していた Librarian などと連携し、センター内においてシステマティックレビュー、スコーピングレビューを実施するための検索式の構築支援を行っている。2021年、22年では12件の文献検索の相談や検索式の構築をおこない、小児がんや慢性肺疾患などの診療ガイドラインにおける CQ の検索式の構築などにも携わっている。また研究部としても、産前教育や産後ケア等の周産期支援の効果、職域における男性社員に対する介入効果のマッピング、学校における健康教育などのレビューおよびオーバービュー・レビューをまとめている。また、JH の活動としてほかの NC と連携して国内のレセプトデータを用いた研究のマッピングや National Database（NDB）の長短所の整理などにも取り組んでいる。

2) 診療レセプトを用いた周産期・小児・思春期における健康課題の抽出に関する研究

NDB や JMDC Claims Database などのレセプトデータを用いて、周産期や小児・思春期の健康課題の抽出を行うとともに、小児外傷や発達障害、川崎病の実態把握などにも取り

組んでいる。また、NDBの利用に関する法律改正にともなって、当センター内でのNDBの利用・管理体制の構築・運営にも携わっている。

3) 子どもの予防可能な死亡の削減に関する研究

厚生労働省が実施している Child Death Review のモデル事業の対象となっている 8 道府県において、事業体制の構築や実施支援を主導している。CDR の意義などに関する既存資料の整理や、事業の評価方法の提案を行うとともに、CDR の社会実装に向けた阻害・促進因子の抽出に関する実装研究をおこなっている。

4) 父親のメンタルヘルスの実態把握やその支援に関する研究

政府統計などを用いて、父親のメンタルヘルスや家事・育児の実態やその影響に関するエビデンスの蓄積をおこなっている。父親支援事業の社会実装に向けて、各自治体の事業の実施状況の調査や好事例集の作成、父親のニーズ調査などをおこなっている。

5) 男性の育児休業取得に関する実態把握とその影響に関する研究

男性が育児休業を取得することによる影響や効果に関して、先行研究をもとにエビデンスを整理するとともに、未就学児をもつ父親を対象にしたアンケート調査を実施し、育児休業の取得が男性の健康状態やワーク・ライフ・バランス、家族に与える影響などを探索的に調べている。

6) ヒト受精卵に対するゲノム編集技術の臨床利用に関する意識調査

ヒト受精卵に対するゲノム編集技術の臨床利用について、専門委員会の提言に基づいてその問題点や課題を整理し、国民の知識を高める教育資料の開発を行った。また、この技術の臨床利用に対する国民や専門家の意識を明らかにし、法規制のあり方の検討時の基礎資料とするための意識調査を実施した。

7) 保育環境の向上に関する研究

国内の保育事故に関する各データベースを用いて、事故の要因や対策に関する情報を整理している。また、自治体からもそうしたデータを集め、保育事故の実態の記述を進めている。海外における保育施設の基準や保育ガイドラインに関しても情報を収集し、保育環境に関する質的・量的データを包括的に整理・検証する研究を行っている。

8) モンゴルにおける精神保健に関する研究

モンゴル国の唯一の精神科専門医療機関の児童思春期外来に通院する子どもを対象に調査を行い、国際的な精神保健の質問紙のモンゴル国における有効性の検討や、モンゴル国における子どもの精神保健上の問題のリスク因子の分析を行った。

9) モンゴル国における運動介入と脳機能の関連に関する介入研究

モンゴル国ウランバートル市の 1 つの地区の公立小学校において、高強度の運動の実施が脳機能や心身の健康状態に及ぼす影響に関するクラスター RCT を実施した。また、運動の効果の媒介分析なども行っている。

10) アンゴラにおける母子健康手帳の有効性に関する介入・実装研究

アンゴラ共和国ベンゲラ州において、母子健康手帳のプロジェクトが地域の妊産婦の産前・産後の保健医療サービスの継続利用にもたらす効果を検証するためのクラスター RCT を実施した。COVID-19 の影響により延期を余儀なくされた時期もあったが、1 万人以上の対象者の参加を得て調査は終了し、データのクリーニングが完了したところである。また、RCT と並行して同プロジェクトの実装状況を評価し、その阻害因子や促進因子を明らかにするための調査を行った。

11) ナイジェリアにおける妊婦の栄養状態と体重増加や母児の健康に関する研究

ナイジェリアのアブジャにある第三次医療施設で、妊娠中の栄養状態と体重増加および妊娠糖尿病との関連に関する縦断研究を実施している。妊娠前の BMI や妊娠期間の体重増加量の推定と、経口ブドウ糖負荷試験の結果の関連について解析を行っている。

12) 医療経済的な分析

小児レスパイトケアにおけるサービスについて、利用者の嗜好の順位付け、さらにそれに対する Willingness to pay 推定のためのインタビュー調査、解析を行っている。

小児の外傷が社会に与えるインパクトについて医療経済的な観点からの評価を試みている。小児診療では保護者の介護も必須なことから、直接医療費、間接医療費、生産性損失を含む費用対効果分析の実施に向けて取り組んでいる。また、出生からの人のウェルビーイングを経済的観点から評価できるような研究手法の開発を行っている。

13) 妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰の多施設前向き研究

日本糖尿病・妊娠学会が主体となって行っている DREAMBee Study (Diabetes and Pregnancy Outcome for Mother and Baby Study) 妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築による多施設前向き研究を 2015 年 10 月から施行している。その研究事務局として中心的に関わっている。

14) 無痛分娩における胎児心拍異常の予後とリスク因子に関する研究

当センターで無痛分娩を受けた妊婦の麻酔導入前後の CTG を収集し、麻酔導入直後の胎児心拍異常が起こった症例の分娩転帰と胎児心拍異常が発生するリスク因子について解析を行なった。

15) HPV ワクチン接種後の体調不良の発生とその実態に関する研究

HPV ワクチンの接種後に体調不良を訴えて受診した患者を対象にした追跡調査を実施し、そうした患者のニーズや生活の状況を把握している。また、2022 年 4 月に積極的接種勧奨が再開されたため、その前から全国の協力医療機関と連携して、関連する患者数に関するサーベイランスを実施し、国の分科会や各地域の専門家に結果を還元している。

16) 女性のやせの実態把握と健康情報の提供に関する大規模実証事業

先進国では珍しい女性の「やせ・低栄養」について、JMDC の健診・レセプトデータを用いて、発生頻度やそうした女性の背景、その後の健康影響などを探索的に明らかにすることを目的とした二次データ解析をおこなっている。また、職域における健診における情報提供の実施可能性及びその効果についての介入研究を行っている。

17) 人口動態調査のリンケージからみた産後一年の女性の死亡に関する研究

人口動態調査の死亡票・個票と出生票・個票、死産票・個票等をリンケージし、産後一年以内の女性の死亡を同定して、その死因や背景因子の解析を行なっている。

18) 精神疾患の子どもたちの診療経過と多機関連携の実態把握

精神疾患および発達障害の子どもたちに対する診療と多機関連携の実態把握を行い、子どもや家族の生活の質の向上や症状の改善のために、より積極的に多機関連携を行いやすくするための診療報酬改定の検討に資する根拠作りを行っている。

【令和 3 年研究業績】

1. 誌上発表

(1) 英文原著

1. Aoki A, Ganchimeg T, Naranbaatar N, Khishigsuren Z, Gundegmaa L, Bat-Erdene S, Munkhbaatar B, Mori R, Kikuchi A, Soya H. Validation of the parent version of the Strengths and Difficulties Questionnaire (SDQ) to screen mental health problems among school-age children in Mongolia. BMC psychiatry. 2021;21(1):1-11.
2. Aoki A, Mochida K, Kuramata M, Sadamori T, Freitas HR, da Cunha JD, Sapalalo P, Tchicodingosse L, Balogun OO, Hiraoka H, Aiga H, Takehara K. The Maternal and Child Health Handbook for Improving the Continuum of Care and Other Maternal and Child Health

- Indicators in Angola: An Implementation Study Protocol. *Front Glob Womens Health*. 2021;2:638766.
3. Aoki A, Niimura M, Kato T, Takehara K, Iida J, Okada T, Kurokami T, Nishimaki K, Ogura K, Okuno M, Koeda T, Igarashi T, Collaborative Working G. Trajectories of Healthcare Utilization Among Children and Adolescents With Autism Spectrum Disorder and/or Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder in Japan. *Front Psychiatry*. 2021;12:812347.
 4. Broderick C, Kobayashi S, Suto M, Ito S, Kobayashi T. Intravenous immunoglobulin for the treatment of Kawasaki disease. *Cochrane Database of Systematic Reviews*. 2021(6).
 5. da Silva Lopes K, Yamaji N, Rahman MO, Suto M, Takemoto Y, Garcia-Casal MN, Ota E. Nutrition-specific interventions for preventing and controlling anaemia throughout the life cycle: an overview of systematic reviews. *Cochrane Database Syst Rev*. 2021;9(9):Cd013092.
 6. Dhungel B, Murakami T, Wada K, Gilmour S. Mortality risks among blue- and white-collar workers: A time series study among Japanese men aged 25-64 years from 1980 to 2015. *J Occup Health*. 2021;63(1):e12215.
 7. Dhungel B, Tsuguhiko K, Kachi Y, Ochi M, Gilmour S, Takehara K. Prevalence of and associated factors for psychological distress among single fathers in Japan. *J Epidemiol*. 2021.
 8. Dhungel B, Tsuguhiko K, Ochi M, Gilmour S, Kachi Y, Takehara K. Association of child's disability status with father's health outcomes in Japan. *SSM Popul Health*. 2021;16:100951.
 9. Kato T, Takehara K, Suto M, Sampei M, Urayama KY. Psychological distress and living conditions among Japanese single-mothers with preschool-age children: An analysis of 2016 Comprehensive Survey of Living Conditions. *J Affect Disord*. 2021;286:142-148.
 10. Kawasaki M, Mito A, Waguri M, Sato Y, Abe E, Shimada M, Fukuda S, Sasaki Y, Fujikawa K, Sugiyama T, Ota E, Nakazawa J, Okoshi T, Takimoto H, Honda Y, Inoue E, Hiramatsu Y, Arata N. Protocol for an interventional study to reduce postpartum weight retention in obese mothers using the internet of things and a mobile application: a randomized controlled trial (SpringMom). *BMC Pregnancy Childbirth*. 2021;21(1):582.
 11. Muramatsu Y, Takagi K, Suzuki T, Dhungel B, Tsuchiya A, Wada K. Does poor spousal health negatively affect own health among elderly retired Japanese couples? A 1-year follow-up study. *SSM Popul Health*. 2021;16:100970.
 12. Nomura S, Eguchi A, Yoneoka D, Kawashima T, Tanoue Y, Murakami M, Sakamoto H, Maruyama-Sakurai K, Gilmour S, Shi S, Kunishima H, Kaneko S, Adachi M, Shimada K, Yamamoto Y, Miyata H. Reasons for being unsure or unwilling regarding intention to take COVID-19 vaccine among Japanese people: A large cross-sectional national survey. *Lancet Reg Health West Pac*. 2021;14:100223.
 13. Nomura S, Yamamoto Y, Yoneoka D, Haagsma JA, Salomon JA, Ueda P, Mori R, Santomauro D, Vos T, Shibuya K. How do Japanese rate the severity of different diseases and injuries?-an assessment of disability weights for 231 health states by 37,318 Japanese respondents. *Popul Health Metr*. 2021;19(1):21.
 14. Nozawa H, Ogura M, Miyasaka M, Suzuki H, Ishikura K, Ishiguro A, Ito S. Ultrasonography as a Diagnostic Support Tool for Childhood Takayasu Arteritis Referred to as Fever of Unknown Origin: Case Series and Literature Review. *Jma j*. 2021;4(4):358-366.
 15. Suto M, Isayama T, Morisaki N. Population-Based Analysis of Secular Trends in Age at Death in Trisomy 18 Syndrome in Japan from 1975 to 2016. *Neonatology*. 2021;118(1):47-53.
 16. Suto M, Mitsunaga H, Honda Y, Maeda E, Ota E, Arata N. Development of a health literacy scale for preconception care: a study of the reproductive age population in Japan. *BMC Public*

Health. 2021;21(1):2057.

17. Suto M, Miyazaki C, Yanagawa Y, Takehara K, Kato T, Gai R, Ota E, Mori R. Overview of Evidence Concerning School-Based Interventions for Improving the Health of School-Aged Children and Adolescents. J Sch Health. 2021;91(6):499-517.
18. Takehara K, Togoobaatar G, Kikuchi A, Lkhagvasuren G, Lkhagvasuren A, Aoki A, Fukuie T, Shagdar BE, Suwabe K, Mikami M, Mori R, Soya H. Exercise Intervention for Academic Achievement Among Children: A Randomized Controlled Trial. Pediatrics. 2021;148(5).
19. Hashimoto R, Suto M, Tsuji M, Sasaki H, Takehara K, Ishiguro A, Kubota M. Use of antipyretics for preventing febrile seizure recurrence in children: a systematic review and meta-analysis. Eur J Pediatr. 2021;180(4):987-997.
20. Motegi N, Morisaki N, Suto M, Tamai H, Mori R, Nakayama T. Secular trends in longevity among people with Down syndrome in Japan, 1995-2016. Pediatr Int. 2021;63(1):94-101.

(2) 英文総説・著書
該当なし

(3) 和文原著

1. 川崎 麻紀, 荒田 尚子, 坂本 なほ子, 長村 杏奈, 佐藤 志織, 小川 佳宏, 安日 一郎, 和栗 雅子, 平松 祐司: 妊娠糖尿病既往女性における産後早期に分かる産後 2 型糖尿病発症のリスク因子について. 糖尿病と妊娠. 2021;21(2):S-54-S-56.

(4) 和文総説・著書

1. 川崎 麻紀, 荒田 尚子: 我が国における妊娠糖尿病と糖尿病合併妊娠の管理最前線 糖代謝異常合併母体の児の予後について. 糖尿病. 2021;64(Suppl.1):S10-5.
2. 川崎 麻紀, 荒田 尚子, 佐藤 志織, 和栗 雅子, 安日 一郎, 長村 杏奈, 坂本 なほ子: 妊娠糖尿病診断時の指標による産後糖尿病発症のハイリスク群の同定. 日本内分泌学会雑誌. 2021;96(3):668.
3. 川崎 麻紀, 荒田 尚子, 和栗 雅子: 糖代謝異常妊婦の体重管理を考える 妊娠糖尿病妊婦の体重管理の現状と課題 単施設共同研究データから. 糖尿病と妊娠. 2021;21(3):S-62-S-63.
4. 飯村 祐子, 荒田 尚子, 佐藤 志織, 山田 未歩子, 鴨志田 純子, 川崎 麻紀, 細田 愛子, 村島 温子: COVID 対応下における糖尿病自己管理アプリを使用した GDM 患者への生活介入・血糖管理の有用性の検討. 糖尿病. 2021;64(Suppl.1):II-67-7.

2. 学会発表

(1) 国際学会講演・シンポジウム
なし

(2) 国際学会等一般演題発表
なし

(3) 国内講演・シンポジウム・招待講演・教育講演等

1. 竹原健二. JICA 能力強化研修/母子手帳運営の実務：評価・講義. 独立行政法人国際協力機構. 2021.2.26
2. 竹原健二. 子育てにおける父親の役割と父親の産後うつについて. 講演. 長岡崇徳大学.

2021.7.24

3. 竹原健二.思春期男子のリプロダクティブ・ヘルスについて.講演.第40回日本思春期学会総会.2021.9.5
4. 竹原健二.パパ支援のトビラをあけよう/パパの両立、その現状と悩みについて.講演.赤ちゃんとママ社.2021.11.19
5. 竹原健二. D&I 科学研究会（保健医療福祉における普及と実装科学研究会）第7回学術集会. 座長.2021.11.20
6. 竹原健二.母子保健における心理社会的側面からの支援研修.講義.母子保健推進会議 2021.11.30
7. 竹原健二.令和3年度家庭教育支援者養成講座/“家庭・子育て・親のいま”をもとに学ぶゼミ.講演.台東区教育委員会.2021.12.12
8. 須藤茉衣子.看護学方法論.講義.聖路加国際大学大学院.2021.10.30
9. 須藤茉衣子.看護学方法論.講義.聖路加国際大学大学院.2021.11.6
10. 青木藍. JICA 能力強化研修/母子手帳運営の実務：評価.講義.独立行政法人国際協力機構.2021.2.26
11. 青木藍. 第117回日本精神神経学会学区学術集会/Fellowship Award Symposium3 Case Vignette (Reactive attachment disorder).座長.2021.9.20
12. 青木藍. アンゴラ共和国における母子健康手帳のインパクト評価への実装研究追加の試み.講演.D&I 科学研究会（保健医療福祉における普及と実装科学研究会）第7回学術集会.2021.11.20
13. 矢竹暖子. 予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業への実装研究追加の試み.講演. D&I 科学研究会（保健医療福祉における普及と実装科学研究会）第7回学術集会.2021.11.20
14. キタ幸子.江東区区民協働事業/脱孤育て推進事業/児童虐待予防研究プログラムが地域にセーフティネットをつくる.講演.江東区こども未来部.2021.11.28
15. 川崎麻紀.糖代謝異常合併母体の児の予後について.講演.第64回日本糖尿病年次学術集会.2021.5.20
16. 川崎麻紀.妊娠糖尿病妊婦の体重管理の現状と課題~他施設共同研究データから.講演.第37回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会.2021.11.27

- (4) 国内学会一般演題
なし

【研究費】

公的研究費（研究代表者）

1. 厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「わが国における父親の子育て支援を推進するための科学的根拠の提示と支援プログラムの提案に関する研究」竹原健二（直接経費 11,427 千円）
2. 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）「子育て期の父親における仕事と家事・育児の両立のあり方に関する包括的な研究」竹原健二（直接経費 4,600 千円）
3. 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究「保育の質と安全を保障する、保育施設設置基準の再検討に関する調査研究」須藤茉衣子（直接経費 220 千円）
4. 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究「保育の質・安全に関する調査研究-保育中の事故要因に注目して」須藤茉衣子（直接経費 1,560 千円）

5. 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究「家族の多重暴力に関する実態解明と多重暴力の予防・終結に向けた家族支援モデルの開発」キタ幸子（直接経費 2,747 千円）
6. 成育医療研究開発費「周産期領域の医療経済評価研究」山本依志子（直接経費 840 千円）

公的研究費（研究分担者）

1. 厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「わが国の至適なチャイルド・デス・レビュー制度を確立するための研究」竹原健二（直接経費 6,000 千円）
2. 厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）「HPV ワクチンの安全性に関する研究」竹原健二（直接経費 13,800 千円）
3. 厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「こどもの傷害情報の解析に基づいた外傷と傷害予防のための研究」竹原健二（研究代表者一括管理）
4. 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）「子育て期の父親における仕事と家事・育児の両立のあり方に関する包括的な研究」須藤茉衣子（直接経費 100 千円）
5. 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（A）「包括的な疾病負荷分析に基づく我が国の保健政策課題の実証的研究」山本依志子（直接経費 250 千円）
6. 日本医療研究開発機構 成育疾患克服等総合研究事業「周産期・小児領域における高品質臨床研究推進のための臨床研究コンソーシアム」竹原健二（研究代表者一括管理）
7. 日本医療研究開発機構 地球規模保健課題解決推進のための研究事業「カンボジアにおける分娩監視装置導入と、その死産・新生児死亡の減少効果に関する研究開発」竹原健二（直接経費 1,272 千円）
8. 成育医療研究開発費「成育医療分野における研究教育・人材育成のための基盤構築プロジェクト」竹原健二（主任一括管理）
9. 運営費交付金 横断的研究推進事業「6NC 連携による医療政策研究等を目的とした NDB 研究体制構築のための研究」竹原健二（直接経費 2,000 千円）
10. 運営費交付金 横断的研究推進事業「実装科学推進のための基盤構築事業」竹原健二（直接経費 6,000 千円）

私的研究費（研究代表者）

1. JICA 受託研究費「母子手帳が母子保健指標に与える影響の調査（インパクト調査）」竹原健二（直接経費 8,078 千円）
2. 受託研究費「予防・健康づくりに関する大規模実証事業（女性のやせ・低栄養）竹原健二（直接経費 23,595 千円）

【その他】

[教育活動]

竹原健二

1. 神奈川県立衛生看護専門学校 非常勤講師
2. 筑波大学大学院 非常勤講師

[社会貢献]

竹原健二

厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業 検討委員会委員長.三菱 UFJ リサーチ
&コンサルティング

須藤茉衣子

一般社団法人日本助産学会 乳腺炎ワーキンググループメンバー

青木藍

日本精神神経医学会 国際委員会委員

[受賞]

キタ 幸子

令和3年度国際ソロプチミスト財団女性研究者クラブ賞. 国際ソロプチミスト財団日本東
リジョン

[研究所運営への貢献]

竹原健二

1. 防災対策委員
2. 倫理予備審査委員会委員

[情報発信・プレリリース]

1. 竹原健二.子育て悩み パパ話して/厚労省 市区町村に相談窓口.読売新聞.2021.1.25
2. 竹原健二.父親の産後うつの実態とその支援.週刊医学界新聞通常号.2021年2月
3. 竹原健二.母子を支える父親への支援の必要性.母子保健情報誌第6号.2021年2月
4. 竹原健二.増える”パタニティブルー”.取材.フジテレビ他.2021年3月
5. 竹原健二.「イクメンもつらいよ」父親の産後うつを防ぐには?.取材.AERA.2021年4月
6. 竹原健二.父親の産後うつとは?1歳未満の子を持つ父親の1割にメンタルリスクあり.
取材.AERA.2021年4月
7. 竹原健二.父親も含めたメンタルヘルスの支援.助産雑誌 2021年4月号
8. 竹原健二.パパの“産後うつ”もある.取材記事.プレジデントベイビー2021 完全保存
版.2021年4月
9. 竹原健二.働く夫婦の妊娠・出産・子育て支援.取材記事.母子保健 2021年5月号
10. 竹原健二.青木藍.音楽に合わせた運動で小学生の学力向上.大学ジャーナル.筑波大
学.2021.10.19
11. 竹原健二.変わるか 男性育児 男性も産後うつ 仲間とのつながり模索.東京新聞
web.2021.10.4
12. 竹原健二.今日の街声～さやかに聞く～.メディア出演.FMヨコハマ.2021.11.25
13. 竹原健二.男性の産後うつについて・産後家庭へのアドバイス.取材記事.パパ育児応援冊
子.2021年
14. 竹原健二.パパは楽しい.監修. パパのための育児 BOOK .2021年8月
15. キタ幸子.”地域で見守る力高めて児童虐待防ぐ”研修.取材.NHK.2021年11月
16. キタ幸子.周りの大人が連鎖を切る.取材記事.AERA12月13日号

[倫理委員会承認研究課題]

1. 竹原健二.国立高度専門医療研究センターにおける政策医療上重要な疾患についての
基礎的疫学研究
2. 竹原健二.政府統計を用いた日本の父親の現状に関する分析
3. 竹原健二.「イクボス企業」における父親支援の実施状況に関する調査

4. 竹原健二.女性のやせ・低栄養が及ぼす保健医療的・経済的インパクトの推計とリスク群を特定するスクリーニング指標の開発：大規模データの2次解析
5. 竹原健二.全国都市自治体の子育て支援における父親支援調査
6. 竹原健二.【中央一括審査】父親の育児支援ニーズに関する疫学調査
7. 須藤茉衣子.子育て家庭の家事・育児支援に関するニーズ調査
8. 須藤茉衣子.自治体が保管する保育所事故報告書のデータ収集及び分析
9. 矢竹暖子.チャイルド・デス・レビュー（Child death review: CDR）体制整備に関する実装研究
10. キタ幸子.【中央一括審査】新型コロナウイルス感染症流行下の看護職における家族看護の困難と技：日本家族看護学会会員へのWebアンケート【多施設共同研究】
11. キタ幸子.家族の多重暴力に関する尺度開発及び実態と関連要因の検証：横断観察研究

【令和4年研究業績】

1. 誌上发表

(1) 英文原著

1. Adachi M, Murakami M, Yoneoka D, Kawashima T, Hashizume M, Sakamoto H, Eguchi A, Ghaznavi C, Gilmour S, Kaneko S, Kunishima H, Maruyama-Sakurai K, Tanoue Y, Yamamoto Y, Miyata H, Nomura S. Factors associated with the risk perception of COVID-19 infection and severe illness: A cross-sectional study in Japan. SSM Popul Health. 2022;18:101105.
2. Ando T, Mori R, Takehara K, Asukata M, Ito S, Oka A. Effectiveness of Pediatric Teleconsultation to Prevent Skin Conditions in Infants and Reduce Parenting Stress in Mothers: Randomized Controlled Trial. JMIR Pediatr Parent. 2022;5(1):e27615.
3. Aoki A, Lai CE, Ii T, Akiyama T. Further need to strengthen mental health in crisis response: multicountry psychiatrists' perspectives. Psychiatry Clin Neurosci. 2022.
4. Aoki A, Mochida K, Kuramata M, Sadamori T, Bhandari AK, Freitas HR, da Cunha JD, Francisco KR, Sapalalo P, Tchicondingosse L. The RE-AIM framework-based evaluation of the implementation of the Maternal and Child Health Handbook program in Angola: a mixed methods study. BMC health services research. 2022;22(1):1-11.
5. Aoki A, Togoobaatar G, Tseveenjav A, Nyam N, Zuunnast K, Lkhagvasuren G, Shagdar BE, Mori R, Kikuchi A, Soya H, Kasai K, Takehara K. Socioeconomic and lifestyle factors associated with mental health problems among Mongolian elementary school children. Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol. 2022;57(4):791-803.
6. Aoki A, Togoobaatar G, Tseveenjav A, Nyam N, Zuunnast K, Takehara K. Quality of life of mothers of children and adolescents with mental health problems in Mongolia: associations with the severity of children's mental health problems and family structure. Global Mental Health. 2022:1-8.
7. Dagvadorj A, Jantsansengee B, Balogun OO, Baasankhuu T, Lkhagvaa B. Health emergency preparedness and response to the COVID-19 pandemic: Lessons learnt from Mongolia. Lancet Reg Health West Pac. 2022;21:100436.
8. Dhungel B, Murakami T, Gilmour S, Ikeda S, Wada K. Occupation- and industry-specific cancer mortality among Japanese women from 1980 to 2015. BMC Public Health. 2022;22(1):2003.
9. Dhungel B, Murakami T, Wada K, Ikeda S, Gilmour S. Difference in Mortality Rates by Occupation in Japanese Male Workers Aged 25 to 64 Years from 1980 to 2015. Int J Environ

- Res Public Health. 2022;19(18).
10. Dhungel B, Rahman MS, Rahman MM, Bhandari AKC, Le PM, Biva NA, Gilmour S. Reliability of Early Estimates of the Basic Reproduction Number of COVID-19: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Int J Environ Res Public Health*. 2022;19(18).
 11. Dhungel B, Takagi K, Acharya S, Wada K, Gilmour S. Changes in cause-specific mortality trends across occupations in working-age Japanese women from 1980 to 2015: a cross-sectional analysis. *BMC Womens Health*. 2022;22(1):44.
 12. Dhungel B, Thapa A, Martínez-Rives NL, Takagi K, Martín P, Wada K, Gilmour S. Method-specific suicide trends from 1979 to 2016 among Japanese adolescents. *Journal of Affective Disorders*. 2022;310:129-134.
 13. Dhungel B, Wada K, Tanaka H, Gilmour S. Time to update the Japanese standard population for comparing mortality rates. *Arch Public Health*. 2022;80(1):153.
 14. Gai Tobe R, Haque SE, Mubassara S, Rahman R, Ikegami K, Mori R. Maternal and child health handbook to improve continuum of maternal and child care in rural Bangladesh: Findings of a cluster randomized controlled trial. *PLoS One*. 2022;17(4):e0266074.
 15. Ghaznavi C, Yoneoka D, Kawashima T, Eguchi A, Murakami M, Gilmour S, Kaneko S, Kunishima H, Naito W, Sakamoto H, Maruyama-Sakurai K, Takahashi A, Takayama Y, Tanoue Y, Yamamoto Y, Yasutaka T, Miyata H, Nomura S. Factors associated with reversals of COVID-19 vaccination willingness: Results from two longitudinal, national surveys in Japan 2021-2022. *The Lancet Regional Health - Western Pacific*. 2022:100540.
 16. Gilmour S, Lai Y, Le PM, Balogun OO. Expanding diagnostics for LMICs. *Lancet*. 2022;399(10335):1604-1605.
 17. Kachi Y, Ochi M, Kato T, Otsuka M, Takehara K. Factors related to parenting stress among fathers of preschool children in Japan. *Pediatrics International*. 2022;64(1).
 18. Kita S, Zonp Z, Saint Arnault D. Initial testing of components of the cultural determinants of trauma recovery (CDTR) theory amongst American Gender-Based violence survivors: Structural equation modelling. *J Adv Nurs*. 2022.
 19. Kobayashi S, Miyoshi T, Kobayashi T, Hayakawa I, Urayama KY, Uchiyama M, Muto K, Takeuchi Y, Taira M, Sago H, Takehara K. Public attitudes in the clinical application of genome editing on human embryos in Japan: a cross-sectional survey across multiple stakeholders. *J Hum Genet*. 2022.
 20. Kuramata M, Mochida K, Fukushima S, Sadamori T, Suzuki M, Francisco KR, Freitas HR, Balogun OO, Takehara K. Development and implementation of the maternal and child health Handbook in Angola. *BMJ Glob Health*. 2022;7(10).
 21. Liabsuetrakul T, Yamamoto Y, Kongkamol C, Ota E, Mori R, Noma H. Medications for preventing hypertensive disorders in high-risk pregnant women: a systematic review and network meta-analysis. *Systematic reviews*. 2022;11(1):1-17.
 22. Morisaki-Nakamura M, Suzuki S, Kobayashi A, Kita S, Sato I, Iwasaki M, Hirata Y, Sato A, Oka A, Kamibeppu K. Efficacy of a Transitional Support Program Among Adolescent Patients With Childhood-Onset Chronic Diseases: A Randomized Controlled Trial. *Front Pediatr*. 2022;10:829602.
 23. Muramoto M, Kita S, Tobe H, Ikeda M, Kamibeppu K. The association between self-compassion in the postnatal period and difficult experiences with COVID-19 pandemic-related changes during pregnancy: An observational study for women at 1-month postnatal in Japan. *Jpn J Nurs Sci*. 2022;19(4):e12494.

24. Nomura S, Eguchi A, Yoneoka D, Murakami M, Ghaznavi C, Gilmour S, Kaneko S, Kawashima T, Kunishima H, Naito W, Sakamoto H, Maruyama-Sakurai K, Takahashi A, Takayama Y, Tanoue Y, Yamamoto Y, Yasutaka T, Miyata H. Characterising reasons for reversals of COVID-19 vaccination hesitancy among Japanese people: One-year follow-up survey. *The Lancet Regional Health - Western Pacific*. 2022;100541.
25. Ogawa K, Kawakatsu Y, Kadoi N, Balogun OO, Adesina AO, Iwayemi VO, Aiga H. Do mothers pick up a phone? A cross-sectional study on delivery of MCH voice messages in Lagos, Nigeria. *PLoS One*. 2022;17(11):e0275855.
26. Shinozaki K, Suto M, Ota E, Eto H, Horiuchi S. Postpartum urinary incontinence and birth outcomes as a result of the pushing technique: a systematic review and meta-analysis. *Int Urogynecol J*. 2022 Jun;33(6):1435-1449.
27. Suto M, Balogun OO, Dhungel B, Kato T, Takehara K. Effectiveness of Workplace Interventions for Improving Working Conditions on the Health and Wellbeing of Fathers or Parents: A Systematic Review. *International journal of environmental research and public health*. 2022;19(8):4779.
28. Tanuma-Takahashi A, Tanemoto T, Nagata C, Yokomizo R, Konishi A, Takehara K, Ishikawa T, Yanaihara N, Samura O, Okamoto A. Antenatal screening timeline and cutoff scores of the Edinburgh Postnatal Depression Scale for predicting postpartum depressive symptoms in healthy women: a prospective cohort study. *BMC Pregnancy Childbirth*. 2022;22(1):527.
29. Tobe H, Soejima T, Kita S, Sato I, Morisaki-Nakamura M, Kamibeppu K, Ikeda M, Hart CH, Emori Y. How participating in a group-based anger management program changed Japanese mothers' cognition, attitude, and behavior: A pre-post pilot study. *Mental Health & Prevention*. 2022;25:200228.
30. Tomo CK, Balogun OO, Davidson J, Guinsburg R, Almeida MFB, Lopes JMA, Barros MCM, Takehara K, Mikami M, Isayama T, Hoshino A, Mori R, Mizuguchi M. Comparison of mortality and survival without major morbidities of very preterm infants with very low birth weight from Japan and Brazil. *Rev Paul Pediatr*. 2022;41:e2021389.
31. Tsuchiya A, Wada K, Morikane K, Yoshikawa T, Hosomi Y, Dhungel B, Kunishima H. Characteristics of needlestick and sharps injuries of the hands in the operating room among orthopedic surgeons in Japan. *Ind Health*. 2022.
32. Tsujimoto Y, Kataoka Y, Banno M, Taito S, Kokubo M, Masuzawa Y, Yamamoto Y. Gestational diabetes mellitus in women born small or preterm: Systematic review and meta-analysis. *Endocrine*. 2022;75(1):40-47.
33. Tsujimoto Y, Kataoka Y, Banno M, Taito S, Kokubo M, Masuzawa Y, Yamamoto Y. Association of low birthweight and premature birth with hypertensive disorders in pregnancy: a systematic review and meta-analysis. *J Hypertens*. 2022;40(2):205-212.
34. Yamaguchi A, Niimura M, Sonehara H, Sekido Y, Kishimoto M, Tachibana Y, Takehara K. The characteristics of children referred to a child protection team in Japan and factors associated with decision-making: A retrospective study using a medical database. *Child Abuse Negl*. 2022;134:105867.
35. Yamaji N, Suzuki D, Suto M, Sasayama K, Ota E. Communication tools used in cancer communication with children: a scoping review protocol. *BMJ open*. 2022;12(2):e056403.
36. Yamamoto Y, Umehara N, Yamashita Y, Sato M, Takehara K, Sago H. Labor risk factors for fetal heart rate abnormality after combined spinal - epidural analgesia. *International Journal of Gynecology & Obstetrics*. 2022.

37. Yamamoto Y, Umehara N, Yamashita Y, Sato M, Takehara K, Sago H. Labor risk factors for fetal heart rate abnormality after combined spinal-epidural analgesia. *Int J Gynaecol Obstet*. 2022.
38. Yoneoka D, Eguchi A, Nomura S, Kawashima T, Tanoue Y, Murakami M, Sakamoto H, Maruyama-Sakurai K, Gilmour S, Shi S, Kunishima H, Kaneko S, Adachi M, Shimada K, Yamamoto Y, Miyata H. Identification of optimum combinations of media channels for approaching COVID-19 vaccine unsure and unwilling groups in Japan. *The Lancet Regional Health - Western Pacific*. 2022;18:100330.
39. Yatake H, Aoki A, Numaguchi A, Takehara K. Barriers, facilitators, and implementation strategies for the initiation of Child Death Review system in Japan: a modified Delphi method study. *BMC Health Serv Res*. 2022;22(1):1482.
40. Yamaji N, Suzuki D, Suto M, Sasayama K, Ota E. Communication Tools Used in Cancer Communication with Children: A Scoping Review. *Cancers (Basel)*. 2022 Sep 23;14(19):4624. Doi: 10.3390/cancers14194624. PMID: 36230548; PMCID: PMC9563078.
41. Tamon H, Suto M, Ogawa K, Takehara K, Tachibana Y. Interventions for expectant and new parents who are at increased risk for perpetrating child abuse and neglect: protocol for a systematic review and meta-analysis. *BMJ Open*. 2022 Nov 21;12(11):e064603. doi: 10.1136/bmjopen-2022-064603. PMID: 36410800; PMCID: PMC9680162.

(2) 英文総説・著書

1. Aoki A, Lai CE, Ii T, Akiyama T. Further need to strengthen mental health in crisis response: multicountry psychiatrists' perspectives. *Psychiatry Clin Neurosci*. 2022.
2. Suto M, Isayama T, Takehara K, Morisaki N. Reply to the Letter to the Editor "Underestimation of Trisomy 18 and 13 Syndromes in Vital Statistics from Inadequate Death Certificates". *Neonatology*. 2022;119(1):135-136.

(3) 和文原著

1. 高木 悦子(帝京科学大学 医療科学部看護学科), 小崎 恭弘, 阿川 勇太, 竹原 健二. 全国自治体で実施されている父親への育児支援の現状. *保健師ジャーナル*. 2022;78(4):306-310.
2. 加藤 承彦, 越智 真奈美, 可知 悠子, 須藤 芽衣子, 太塚 美耶子, 竹原 健二. 父親の育児参加が母親、子ども、父親自身に与える影響に関する文献レビュー. *日本公衆衛生雑誌*. 2022;69(5):321-337.
3. 因幡 優美, 小河 邑子, 安田 采未, 小林 しのぶ, 加藤 承彦, 竹原 健二. オンラインマタニティクラスのニーズに関する調査. *ペリネイタルケア*. 2022;41(4):398-404.

(4) 和文総説・著書

1. ダ・シルヴァ・ロペス カタリナ, 大出 幸子, 須藤 芽衣子, バロゲン オルクンミ, ライコーサロン プラ, 宮崎 セリーヌ, 森 臨太郎, 大田 えりか. Providing Linkage to Breastfeeding Support to Mothers on Discharge to Improve Breastfeeding Outcomes: A Systematic Review. *聖路加国際大学紀要*. 2022;8:9-17.
2. キタ 幸子. 【被害者支援を考える】パートナーからの暴力(IPV)被害による心身の影響被害者の語りから必要な支援を見極める. *保健の科学*. 2022;64(2):86-89.
3. 竹原 健二. 【事例でまなぶ 助産師ができる周産期のメンタルヘルスケア 病態生理、スクリーニング、服薬指導、多職種連携… この1冊で全てがわかる】(第1章)周産期

- メンタルヘルスに詳しくなろう 周産期メンタルヘルスの病態生理 父親(パートナー)のメンタルヘルス. ペリネイタルケア. 2022(2022 夏季増刊):43-48.
4. 竹原 健二, 青木 藍. 【小児医療の最先端】基礎・基盤編 小児医療・保健の充実に向けて重要となる"実装研究" 科学的根拠と実践のギャップを埋める新たな研究方法的紹介. 医学のあゆみ. 2022;282(5):365-370.
 5. 東 園子, 稲田 千晴, 須藤 茉衣子, 井村 真澄. 新型コロナウイルス感染症流行期における働く男女の子育てと母乳育児の実態調査. 日本助産学会誌. 2022;35(3):394-395.

2. 学会発表

(1)国際学会講演・シンポジウム

1. Aliza K C Bhandari, Intervention to Enhance Earthquake Preparedness Knowledge and Practice among Nepalese Immigrants Residing in Japan. Fourth Global Nepali Health Conference, Sydney Australia. 2022.09.17.
2. Bibha Dhungel, Koji Wada, Stuart Gilmour. Cancer mortality among employed Japanese women from 1980 to 2015. World Cancer Congress. 18th October 2022

(2) 国際学会等一般演題発表 なし

(3) 国内講演・シンポジウム・招待講演・教育講演等

1. 竹原健二.活力支援セミナー/パパ育児.セミナー講演.赤ちゃんとママ社.2022.1.14
2. 竹原健二.令和 3 年度エコチル調査に係る業務に関する地域対話/地域の子育て世代との対話.講演.三菱総合研究所.2022.1.21
3. 竹原健二.JICA 能力強化研修/母子保健-継続ケアの実現と母子手帳の活用を中心に.講義.独立行政法人国際協力機構.2022.2.18
4. 竹原健二.父親支援キック・オフ・フォーラム 2022.講演.新座市子育てネットワーク.2022.5.11
5. 竹原健二.令和 4 年母子保健研修/妊娠期からの切れ目ない支援-母子保健分野における父親支援について.講義.東京都福祉保健局.2022.6.22
6. 竹原健二.子育てにおける父親の役割と父親の産後うつについて Prat2.講演.長岡崇徳大学.2022.7.23
7. 竹原健二.令和 4 年度第 2 回母子保健コーディネーター養成研修/妊産婦や父親のメンタルヘルスについて.講義.三重県.2022.9.8
8. 竹原健二.父親をとりまく子育ての状況と父親支援について.講義.板橋区役所.2022.9.9
9. 竹原健二.今の時代に求められている、あるいは、発揮される、父性のちから.講演.第 18 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会.2022.10.22
10. 竹原健二.令和 4 年度埼玉県市町村保健師協議会研修会/育児中の父親を取り巻く環境と必要な支援.講義.埼玉県市町村保健師協議会.2022.11.25
11. 須藤茉衣子.コ克蘭レビュータイトル登録ワークショップ.NPO 法人日本コ克蘭センター.2022.7.14
12. 須藤茉衣子.コ克蘭 RA 対象診療ガイドラインワークショップ.NPO 法人日本コ克蘭センター.2022.11.6
13. 須藤茉衣子.看護学方法論.講義.聖路加国際大学大学院.2022.10.29
14. 須藤茉衣子.看護学方法論.講義.聖路加国際大学大学院.2022.11.12
15. 青木藍. JICA 能力強化研修/母子手帳運営の実務：評価.講義.独立行政法人国際協力機

構.2022.2.18

16. 青木藍. Fellowship award symposium 4 Mental health of the general population under the COVID-19 pandemic: including a brief case description/ Efforts to maintain mental health in the general population under the COVID-19 pandemic.座長. 第 118 回日本精神神経医学会学術総会.2022.6.17
17. 青木藍.実装科学をひらくーリアルワールドとの対話ー.座長.D&I 科学研究会（保健医療福祉における普及と実装科学研究会）第 8 回学術集会.2022.7.9
18. 川崎麻紀.妊娠糖尿病の産後フォローアップ.講演.第 65 回日本糖尿病年次学術集会.2022.5.13
19. 川崎麻紀.妊娠中および産後の生活介入は肥満妊産婦とその子の予後を変えるか？.講演.第 55 回日本小児内分泌学会学術集会.2022.11.1
20. 川崎麻紀.CGM による糖尿病合併妊娠の血糖管理について.講演.第 38 回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会.2022.11.4

(4)国内学会一般演題

1. 東園子, 稲田千晴, 須藤茉衣子, 井村真澄.新型コロナ感染症流行期における働く男女の子育てと母乳育児の実態調査.第 36 回日本助産学会学術集会.2022 年 3 月
2. 須藤 茉衣子, 今井 晶子, 竹原 健二. 子育て家庭を対象とした育児・家事支援ヘルパー事業の利用に関する調査.第 69 回日本小児保健協会学術集会.2022 年 6 月
3. 須藤茉衣子, 杉山雄大, 今井健二郎, 井花庸子, 細澤麻里子, 市瀬雄一, 新野真理子, 竹上未紗, 臼田謙太郎, 児玉知子, 田口怜奈, 佐藤美寿々, 田中素子, 竹原健二, 磯 博康.日本におけるレセプトデータ研究の概況：スコーピングレビュー.第 81 回日本公衆衛生学会総会.2022.10.9

【研究費】

公的研究費（研究代表者）

1. 厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「わが国における父親の子育て支援を推進するための科学的根拠の提示と支援プログラムの提案に関する研究」竹原健二（直接経費 11,500 千円）
2. 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）「子育て期の父親における仕事と家事・育児の両立のあり方に関する包括的な研究」竹原健二（直接経費 3,700 千円）
3. 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究「保育の質・安全に関する調査研究-保育中の事故要因に注目して」須藤茉衣子（直接経費 1,937 千円）
4. 成育医療研究開発費「成育のこども・シンクタンクセンターの基盤強化と推進に向けた研究」竹原健二（直接経費 18,000 千円）
5. 国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部横断的研究推進費（若手研究助成課題）「糖尿病母体から出生した児の肥満・耐糖能異常の予防に関する研究」川崎麻紀（直接経費 900 千円）

公的研究費（研究分担者）

1. 厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「子どもの死を検証し予防に活かす包括的制度を確立するための研究」竹原健二（直接経費 4,500 千円）
2. 厚生労働科学研究費補助金（新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）「HPV ワクチンの安全性に関する研究」竹原健二（直接経費 20,193 千円）
3. 厚生労働科学研究費補助金（女性の健康の包括的支援政策研究事業）「予防・健康づく

りに関する大規模実証事業の結果に基づく女性の健康に関わるエビデンス構築に係る研究」竹原健二（直接経費 1,300 千円）

4. 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）「子育て期の父親における仕事と家事・育児の両立のあり方に関する包括的な研究」須藤茉衣子（直接経費 100 千円）
5. 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）「ウィズ／ポストコロナ時代に働く女性のプレコンセプショナルケア IoT プログラム開発」須藤茉衣子（直接経費 100 千円）
6. 日本医療研究開発機構 成育疾患克服等総合研究事業「周産期・小児領域における高品質臨床研究推進のための臨床研究コンソーシアム」竹原健二（研究代表者一括管理）
7. 日本医療研究開発機構 地球規模保健課題解決推進のための研究事業「カンボジアにおける分娩監視装置導入と、その死産・新生児死亡の減少効果に関する研究開発」竹原健二（直接経費 1,272 千円）
8. 成育医療研究開発費「成育医療分野における研究教育・人材育成のための基盤構築プロジェクト」竹原健二（主任一括管理）
9. 成育医療研究開発費「NDB 運用管理体制の整備」竹原健二（主任一括管理）
10. 横断的研究推進事業「6NC 連携による医療政策研究等を目的とした NDB 研究体制構築のための研究」竹原健二（直接経費 1,800 千円）
11. 実装科学推進基盤構築支援事業「実装科学推進のための基盤構築事業」竹原健二（直接経費 2,000 千円）

私的研究費（研究代表者）

1. 受託研究費「予防・健康づくりに関する大規模実証事業（女性のやせ・低栄養）竹原健二（直接経費 22,300 千円）
2. 受託研究費「予防のための子どもの死亡検証に関する体制整備及び広報啓発業務」竹原健二（直接経費 2,565 千円）

【その他】

〔教育活動〕

竹原健二

1. 神奈川県立衛生看護専門学校 非常勤講師
2. 淑徳大学・大学院 非常勤講師
3. 東京医科歯科大学 非常勤講師
4. 筑波大学大学院 非常勤講師

〔社会貢献〕

竹原健二

内閣府令和 4 年度子ども・子育て支援調査研究事業・児童手当の支給に関する諸外国における実施状況に関する調査研究会委員・有限責任監査法人トーマツ

須藤茉衣子

一般社団法人日本助産学会 乳腺炎ワーキンググループメンバー

青木藍

日本精神神経医学会 国際委員会委員

〔受賞〕

なし

[研究所運営への貢献]

竹原健二

1. 防災対策委員
2. 倫理予備審査委員会委員

[情報発信・プレスリリース]

1. 竹原健二.父親が家事・育児をする時間を確保するには仕事関連時間を 9.5 時間以内にすることが必要.国立成育医療研究センター.2022.1.13
2. 竹原健二.パパの育児参加 1 日 2.5 時間達成へ 働く時間どれくらいにすれば?.取材記事.朝日新聞デジタル.2022.1.17
3. 竹原健二.父親の家事・保育時間を確保するのは社会の責任！長時間労働の是正など！.取材.しんぶん赤旗.2022 年 1 月
4. 竹原健二.子育て 良い夫婦関係から コロナ禍以降注目 各地で講座も.取材.読売新聞.2022 年 3 月
5. 竹原健二.Parental psychological distress in the postnatal period in Japan.Depression Journal 第 28 号.2022 年 4 月
6. 竹原健二.産後 1 年間ににおける夫婦のメンタルヘルス不調と父親を含めた世帯単位での支援の必要性.取材記事.DEPRESION JOURNAL4 月号.2022 年 4 月
7. 竹原健二.長時間労働に疲れ果てながら家事・育児も…父親の産後うつに関する研究から見た日本のパパたちの孤独.取材.BuzzFeed.2022 年 4 月
8. 竹原健二.産後うつ父親も注意を.取材.北海道新聞.2022 年 4 月
9. 竹原健二.改正育児・介護休業法施行 男性育休増へ企業も変革.取材.読売新聞.2022 年 4 月
10. 竹原健二.育休で「職場に戻る場所は…」見落とされる父親の”産後うつ”.取材.西日本新聞.2022 年 6 月
11. 竹原健二.小児医療・保健の充実を目指した『実装研究』.医学のあゆみ 282 巻 5 号.2022 年 7 月
12. 竹原健二.ヒト受精卵へのゲノム編集技術の臨床利用に関する日本人の意識調査.プレスリリース.医療ニュース.2022.7.28
13. 竹原健二.「育児うつ」父親にも/国や自治体の支援急務.琉球新報.2022.8.23
14. 竹原健二.父親の育児うつに対策を/長時間労働で負担大きく.神奈川新聞.2022.9.6
15. 竹原健二.産後うつは男性も同じ割合「ママはどうしているのか」にへこむパパ.取材記事.大手小町.2022.9.15
16. 竹原健二.「産後うつ」父親も 来月から「産後パパ育休」創設.取材記事.朝日新聞.2022.9.28
17. 竹原健二.仕事に育児…パパが「産後うつ」？忍び寄るリスク、必要な対策は.取材.朝日新聞 Web.2022 年 9 月
18. 青木藍.発達障害と家族への支援.出版.日本評論社.2022 年 5 月
19. 青木藍.暮らしを診る/心の訪問診療.出版.日本評論社.2022 年 8 月
20. Ai Aoki, Ketha Rubez Fracisco, Kenji Takehara. ANGOLA: How MCH Handbook was used in Angola: an implementation study. JICA Technical Brief.2022 年 12 月

[倫理委員会承認研究課題]

1. 竹原健二.HPV ワクチン接種後に多様な症状を呈した患者数のサーベイランス【中央一括審査】
2. 竹原健二.父親の育休取得に関する Web 調査
3. 竹原健二.職域における女性のやせ・低栄養に対する健康情報の効果や社会実装の可能性に関する介入研究
4. 青木藍.COVID19 パンデミック下におけるメンタルヘルス・精神科医療の課題に関する各国の精神科医の意識調査